



射水

射水神社社報
第19号



市内を蛇行し流れる小矢部川（旧射水河）

甦りの年

射水神社宮司 松本正昭

新年あけましておめでとうございます。

平成二十五年の年頭にあたり、謹んで皇室の弥栄と崇敬奉賛会・崇敬者各位のご繁栄を祈念申しあげます。

今年には日本の総氏神と仰ぐ伊勢の神宮におかれましては、二十年に一度の定められた年に古式のままに社殿・装束・神宝を新しく造り替え、大御神に神殿にお遷りを仰ぐ式年遷宮を迎える格別な年にあたります。

昨年は正殿建築のはじめに際し、御柱を立てる立柱祭、正殿の棟木を上げる上棟祭が厳粛に執り行われました。今年は完成した正殿が建つ御敷地にお白石を敷くお白石持ち行事が予定されており、秋の遷御の儀にむけて着々と準備や祭典行事が進め

られております。この式年遷宮にあたり、昨今の暗雲立ち込める社会状況を一扫し、大御神の御光を仰ぐことにより、日本人の心が甦り、国運隆昌することを乞い願うところであります。

扱、当神社の御祭神「二上神」が国魂として祀られたのは千数百年以上の悠久の昔のことであります。天武天皇の三年、対馬国に銀が産出され献上された折、諸国神祇が奉幣にあずかり、当神社御祭神「二上神」も奉幣に浴した事が正史に記載されております。

この史実に基づき、平成二十七年は鎮座千三百四十年の式年の年にあたります。又、明治八年九月、長い年月に亘って鎮座されていた二

上山麓を離れ、現在地の関野の台地高岡城本丸跡地に遷座されて以来、百四十年の節目の年にあたります。

昨年、崇敬奉賛会総会において、橘慶一郎氏を総裁として推戴するとともに、御鎮座千三百四十年・御遷座百四十年式年大祭を斎行する旨議決され、式年大祭準備委員会が設立されました。本会では悠遠な歴史を偲び、一層の御神威の発揚につとめたく、二年後の式年祭にむけて準備を進めているところでございます。

皆様方には、なにとぞ趣意を御賢察いただき、この上作格別のお力添えを賜りますようお願い申し上げますと共に、此の年が稔りある年に成りますようご祈念申し上げ、年頭の御挨拶と致します。

第四回 崇敬奉賛会研修旅行

株式会社 室屋 代表取締役社長 室谷晃司

この度の研修旅行では、岐阜の南宮大社の自由参拝、続いて伊奈波神社にて正式参拝、岐阜城の見学。二日目は、関・美濃・郡上八幡と歴史ある町並みの散策と盛りたくさんの日程で、天候にも恵まれ会員同士との親睦を深めることができました。

正式参拝においては、本殿での神聖な空間に身を置き、心が洗われて清々しい気持ちになれたのは私だけではなかったように思います。宿の長良川温泉では、和やか雰囲気の中で、語らい、そしてまた歌あり、ハーモニカ演奏ありと、楽しい時間を過ごすことができました。

翌日の関、郡上八幡や、美濃市の《うだつの上がる町並み》は歴史的建造物で、大変参考になる見学となり、また老若男女皆さん和気あいあいと旅をすることができました。

今回の旅行を振り返ってみると、改めて地元、高岡を見つめ直すよい機会になったように思います。

高岡市では、今、新幹線の開通に伴い《飛越能の玄関口 高岡》として新生高岡のPRに努めています。

高岡の財産としては、言うまでもなく、国宝瑞龍寺 勝興寺(重文)

高岡城跡(高岡古城公園) 射水神社

御車山祭 高岡大仏 雨晴海岸

前田利長墓所

そして、山町筋(平成十二年)や金屋町(今年)は国の重要伝統的建造

物群の保存地区に選定するなど、現在、国の歴史都市の認定(全国で二十六都市)を受けております。

この高岡の伝統、文化、自然を、もっともっと発信できるように私たち、一人ひとりが“高岡人”として意識を高める必要があるのではと感じました。



結びに、今回の旅の企画や、お世話を頂きました松本宮司をはじめ同行された皆様に感謝申し上げますと共に、今後とも崇敬奉賛会の皆様方の益々のご発展とご多幸を、お祈り申し上げます。この度は、心に残る旅“誠にありがとうございました”。

9月26日(水)	射水神社 ▶ 高岡IC ▶ 関ヶ原IC ▶ 南宮大社(自由参拝) ▶ 伊奈波神社(正式参拝)
	6:30 10:00~10:30 11:10~12:30
	▶▶ 岐阜市内(昼食) ▶▶ 山麓駅・金華山ロープウェイ・山頂駅 ▶▶▶
	12:40~13:40 13:50 14:00
	▶▶ 岐阜城 ▶▶▶ 長良川うかいミュージアム ▶▶▶ 長良川温泉(泊)
	14:00~14:30 14:50~15:20 15:30
9月27日(木)	旅 館 ▶▶ 関刃物センター ▶▶▶ うだつの上がる町並み ▶▶▶▶▶
	8:50 9:20~9:50 10:10~11:00
	▶▶ 郡上八幡博覧館 ▶▶▶ 郡上八幡(昼食) ▶▶▶▶ 郡上八幡町並み/散策 ▶▶▶▶▶
	11:40~12:15 12:20~13:20 13:20~14:20
	▶▶▶ 郡上八幡IC ▶▶▶▶ ひるがの高原SA ▶▶▶▶▶ 高岡IC ▶▶▶▶▶ 射水神社
	14:55~15:15 17:00

杜の景色

祭事暦(下半期)

7月30日	明治天皇 百年奉告祭
8月6日～9日	浦安の舞講習会
8月7日	七夕短冊焼納祭
8月18日	土俵祭
8月27日	諏訪社例祭
9月16日	秋季大祭
9月22日	日吉社秋祭 秋季皇霊祭
9月23日	院内社秋祭
10月1日～11月30日	七五三まつり
10月10日	高岡市護国神社 秋季大祭
10月17日	神嘗祭遙拝・ 奉祝祭
11月3日	明治祭
11月14日	高岡市護国神社 竣工慶賀祭・祝賀会
11月23日	新嘗祭
12月21日	冬至祭
12月23日	天長祭 神符守札奉製入魂祭
12月29日	年越大祓
12月31日	除夜祭

浦安の舞講習会 開催される

毎年恒例の富山県神社庁主催による「浦安の舞講習会」が、神社音楽協会副会長の先崎徑子先生を講師にお招きし、開催されました。浦安の舞は、昭和天皇御製「天地の神にぞ祈る朝なぎの海のごとくに波たため世を」との神楽歌に合わせ、鈴・扇を手に舞われます。当神社でも年四度の大祭や、結婚式にこの舞が奉奏されます。



仲秋奉納公演 久乗編鐘の夕べ

小馬崎達也氏 & PANGGA

仲秋の前日の九月二十九日、小馬崎達也 & PANGGAメンバーによる奉納演奏が行われました。

世界に誇る高岡銅器・おりん「久乗編鐘」や、日本の伝統楽器、西洋弦楽を用い、自然との融合を目指し作られた「帰依」「幻桜」の二曲を神前に奉納。いみづ茶寮では「月への思ひ」「大地に浮かぶ月」など十曲が演奏されました。



高岡市護国神社 竣工慶賀祭 斎行

十一月十四日、高岡市護国神社の鳥居並びに拝殿天井の修繕が整い、竣工慶賀祭が執り行われました。

お祭りでは、高田哲副市長はじめ、関係者約七十名ご参列のもと、宮司が祝詞を奏上、大麻及び切麻にて祓い清め、永く久しく安全堅固であることを祈念いたしました。祭典後は、参集殿瑞祥の間にて祝賀会が催されました。



新年初祈禱のご案内

個人祈禱

一、厄年祓

本厄

四十二歳 男 昭和四十七年生
三十三歳 女 昭和五十六年生
二十五歳 男 昭和六十四年生
十九歳 女 平成七 年生

前厄

四十一歳 男 昭和四十八年生
三十二歳 女 昭和五十七年生
二十四歳 男 平成二 年生
十八歳 女 平成八 年生

後厄

四十三歳 男 昭和四十六年生
三十四歳 女 昭和五十五年生
二十六歳 男 昭和六十三年生
二十歳 女 平成六 年生

一、祝事（男女）

還暦 六十一歳 昭和二十八年生

古稀 七十歳 昭和十九年生

喜寿 七十七歳 昭和十二年生

傘寿 八十歳 昭和九 年生

米寿 八十八歳 大正十五年生

一、商売繁昌祈願

一、家内安全祈願

一、合格祈願

一、安産祈願

一、初宮詣

一、その他諸祈願

◎初穂料 五千円より志
(但し厄年祓・祝事祈禱は地酒・鏡餅等お供え下さい)

団体参拝

※事前にご予約下さい

一、職場安全・商売繁昌祈願 等

◎初穂料 二万円より志 (地酒二升をお供え下さい)

◆祈禱受付時間 元旦 午前〇時〜午後五時／二日以降 午前九時〜午後五時

お問合わせ 射水神社社務所 ☎0766-22-3104

神前結婚式

文 月 七月奉式

水口 勝志・久美子
八田 尚人・友里
山崎 友裕・理絵
辻井 紀生・麻利子
高木 智至・絃子
葉 月 八月奉式
大橋 功樹・凜
大村 慎也・彩

長 月 九月奉式

石田 隆浩・一美
ブライアン・ウィッチ・寺沢千恵

霜 月 十一月奉式

清都 浩平・寛英
木村 拓朗・晃子
横 貴之・永吏子
向谷内 隼人・由佳
川除 孝之・由紀子
飯久保 嘉則・忍
山崎 博明・真紀子
柏倉 勝・敬子
神無月 十月奉式
田中 天美・史永
川口 義仁・優喜
津田 昌明・由佳理
蓮沼 政治・茜

山田 徹・さやか
ラッセル・オービン・宮下彩子
浮橋 裕一・和紀子
奥原 佳弘・佳代
金谷 一朗・さや香
久保 徳允・貴子
藤村 圭一・美代子
村中 宏行・昌美
中尾 靖志・雪恵
室澤 幸紀・伸子
為井 大輔・静香
澤越 由東・千帆
西海 友規・晴美
西海 由貴・昌代
水木 武史・理恵
佐伯 博幸・さおり
武内 光一・純子
打田 洋一・真紀
稲垣 里友・美
角玄 正儀・明希
高木 智康・麻里
米澤 智康・麻里
酒井 康弘・祐子
荻布 泰弘・紫奈子

越中の食彩

有限会社 フレッシュ佐武
代表取締役会長 佐武俊三久

日本食で元気に

日本の土壌、特に富山県の土壌はすばらしい。なぜならば、日本には四季があり、仮に土壌が汚染されたとしても、雨によつて浄化され、また立山連峰などからもたらされる豊富な水、地下水があるからである。よつて、お米はもちろん、シイタケやタイコン（木津地区）などおいしい野菜も生育するのである。

昔から、日本ではどの家庭でも味噌を作り、漬物や梅干しなども漬けていた。それらのバクテリア（善玉細菌）を毎日食することによつて、我々は健康な身体を保ってきたのである。

しかし、戦後から徐々に、若者を中心として外国、特に欧米の食材やハンバーガー・インスタントラーメンなどの添加物の入ったものや、加工食品を口にする日本人の割合が増加している。そして、その数に比例して、不健康な日本人の割合も増加している。つまり、不妊・癌などの発症率が、日本食中心だった時代よりも、明らかに高くなっているのだ。

ある。身体に良くない、合わない食べ物をとると悪玉腸内細菌が増加し、体質を悪くして不健康になるのである。

私は神社の総代を長年務めている。「氏神様にはその土地で稔ったお米や、地元のお酒をお供えすると喜ばれる」と聞いたことがある。まさに、我々人間もその土地で採れた食材で、加工食品ではないものを食することが最も身体によいのである。

昔ながらの伝統発酵食品（味噌・漬物・醤油・梅干・納豆）と地元で採れた野菜を毎日食し、健康な身体を作る為にも日本食を見直そう。



昔ながらの日本食

ご奉納

（敬称略）

提灯

塩崎商衡（株） 一張
グリーン産商（株） 一張
（株）とさ 戸佐孝信 一張



絵画

「冠 雪」（油絵） 十二町仁三
「時の融合」（染物） 十二町 薫



「冠 雪」



「時の融合」

社紋入三寸土器

百枚



平成二十四年十月挙式記念

田中家
広瀬家

『ふるさと』

射水神社

⑰高岡城 ～規模と構造～ (その一)

高岡城は『越登賀三州史』によると、東南二七九間（約五〇七m）、南西二〇一間（約三六五m）の規模を持つ。関野は広大な庄川扇状地の末端にある僅かな台地（標高十五m前後）で、高岡城はその北端部に築かれた平城である。築城当時の高岡城の絵



高岡古城図（『高岡史料』下巻）
（小堀金五右衛門政布提出）

図は発見されていないが、現存する史料によれば、五曲輪二列構造をとって南端に大手口を置いており、現在と変わっていない。大手口となつてゐる鍛冶丸は「櫓形」の別称があり、四角形の防塁施設があつたとされる。この枳形といわれる防塁施設は三の丸から外部に通じる搦手口や本丸の入口にも設けてあつたとされる。

高岡城の特色はその広大な水濠にあるといわれる。総面積二十一万㎡のうち、約三割が人工の水堀で占め、しかもその水

は現在に至るまで水位がほとんど変わっていない。それは豊富な庄川の伏流水を水源として利用しているからといわれる。五つの曲輪はすべて水濠を掘つた際の大量の土砂で造成し、その周囲に土塁や石垣が築かれた。現在は二の丸と本丸間の土橋の両側の石垣が現存しているのみで、石材はほとんど加工されておらず、積み方は不揃いな石の形を組み合わせて積む「乱積み」である。また、「卍」「H」などの刻印が、東側だけでも六十種二百二十個認められる。

編集後記

謹んで初春のお慶びを申し上げます。

昨年、平成二十四年の諸祭典も崇敬者みなさまの多数ご参列のもと、厳肅に斎行できましたことに心より感謝申し上げます。

また、前号にもご紹介をさせて頂きましたが、提灯・絵画・単盃など、皆様より多数のご奉納を賜りました。この場をお借り致しまして、厚く御礼を申し上げます。

平成二十五年は、我々日本人の総氏神様と崇める伊勢の神宮におかれましては、二十一年に一度の式年遷宮（ご社殿・ご神宝を全て新調）が執り行われます。崇敬者各位におかれましては、天照大御神様を始めとする神々、そして射水の大神様のご加護を頂かれまして、幸多き年とならむことを心よりお祈り申し上げます。

発行 射水神社

〒913-0004 高岡市古城一―一
平成二十五年一月

TEL (0766) 221-3004
FAX (0766) 221-3715
印刷所 キクラ印刷株式会社

舞楽『蘭陵王』

伊勢の神宮での特別なご祈祷「別大々神楽」で
奉奏される舞楽の大曲『蘭陵王』が
射水神社の結婚式で奏でられることになりました。

日本三景の一つ「安芸の宮島」で知られる広島県の厳島神社など、
挙式での奏楽は全国でも当社を含めて三社のみとなります。

Utsukushi no mori Marriage Story



純白十二単

平安時代の古典『紫式部日記』に登場する記録を基に再現された
「一榮十二単 平安朝白無垢」をお披露目。
衣紋道・山科流による宮廷装束研究家の調進(縫製)で、
十二単での挙式は射水神社ならではです。

フレンチ料理での披露宴

大規模リニューアルで厨房も拡張し、
新たに本格フレンチ料理が加わりました。
四季折々、越中の山海の新鮮な旬菜を
取り入れたお料理の数々。
披露宴にお招きしたゲストの皆様にも
必ずやご満足いただけることと思います。



うつくしの杜 結婚式場

射水神社

射水神社

検索

URL ■ <http://www.imizujinja.or.jp>

Eメール ■ jinja-k@mbs.sphere.ne.jp

お問合せ ■ (0766)22-0808